

胃内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられる患者さまへ 入院診療計画書

説明年月日 年 月 日

消化管内科 () 病棟 () 号室 患者さま氏名: 病名: 胃腫瘍 症状: なし

入院目的: 手術目的 手術内容: 内視鏡的粘膜下層剥離術 推定される入院期間: 約8日 特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無

	入院日	手術当日	術後1日目
内服	持参薬の確認をします 持参薬のうち、主治医の許可したものを服用いただきます 抗凝固剤を服用されていた患者様は中止されていますか？ 夕食後に胃粘膜保護の内服をしていただきます タケキャブ(20)・・・1回1錠	治療後、胃粘膜保護の内服をしていただきます アルロイドG・・・1回20ml	胃粘膜保護の内服をしていただきます 10時・15時・20時にアルロイドG・・・1回20ml
点滴		朝8時(午前中に手術の場合は6時)より、持続点滴をします 治療後、潰瘍治療薬の注射があります	持続点滴です 朝・夕に、潰瘍治療薬の注射があります
処置	体温・血圧・脈拍を1回/日測定します	肺血栓塞栓症予防のため、弾性ストッキングをはきます 体温・血圧・脈拍を4回/日測定します 手術後より、腹痛・吐気・嘔吐・下血がないか観察します	体温・血圧・脈拍を3回/日測定します
検査	必要時、採血があります		採血、レントゲン撮影、胃カメラがあります
食事	常食(必要時治療食)	朝から絶食です 午前中の検査の場合朝7時以降 午後の検査の場合は朝11時以降、水分摂取も禁止です 内視鏡室に行く前に排尿をしていただきます 必要時、尿のくさをいれます。	朝から水分が飲めます
排泄			
清潔	入浴できます		全身清拭・洗髪をお手伝いします
安静度	制限はありません	治療後、ベッド上安静です	棟内歩行できます
説明・指導・指	ネームバンド装着 看護師により入院時オリエンテーションがあります 医師から内視鏡的粘膜下層剥離術の説明があります	入れ歯・指輪・時計・眼鏡・コンタクトをはずしてください 術後、手術結果の説明があります	

注1) 診察内容は現時点で考えられるもので、今後検査を進めていくに従って変更する場合があります。その場合は再度説明いたします。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

主治医署名

主治医以外の担当者署名

上記の通り、治療計画について十分な説明を受けましたので同意します。 年 月 日

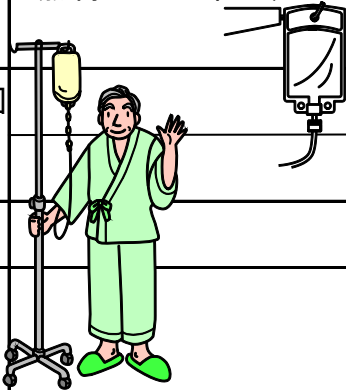
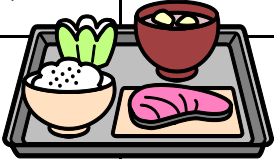
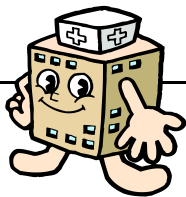
患者本人署名

親族又は代理人署名

(患者との続柄 :) 承認番号: 72016-01

胃内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられる患者さまへ

患者さま氏名：

	術後2日目	術後3日目		術後5日目	術後6日目 退院	退院後の療養上の注意点
内服	胃粘膜保護の内服があります 10時・15時・20時に アルロイドG・・・1回20ml 朝に胃粘膜保護の内服として タケキャブ(20)・・・1回1錠 の内服があります				→	・治療時に出された薬は 毎日、忘れずに飲みましょう ・退院後、1週間は胃の負担に ならない消化のよいものを とりましょう ・辛いもの、ニンニクなどの 刺激物は避けましょう コーヒーなども避けましょう ・次回外来受診まで、 禁酒・禁煙 をしてください
点滴	点滴は1日3本です	点滴は1日2本です 				
処置	体温・血圧・脈拍を1日1回 測定します				→	
検査				採血があります		
安静度	院内歩行ができます					・次回外来受診まで、 入浴で湯につかるのは 約15分以内としましょう
食事	夕から3分粥食が 開始になります	夕から5分粥食 になります		朝から全粥食 になります	朝から常食 になります	・ 急激な腹痛・吐血・下血 (黒っぽい便)など、 気になることがあれば、 早めに病院に 受診しましょう
説明	強い腹痛がある時は看護師にすぐお知らせください 便が出たときは、流さずに看護師にお見せください (出血がないか確認いたします)		 栄養指導 (希望により行います)		→ 	外来：0798-45-6200 時間外：0798-45-6111

※状況により変更することがあります。ご不明な点があれば、おたずねください。